

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	資料収集保存事業			シート番号	A 一般事務事業 08-60
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸 課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	昭和55年の開館以来、堺市に関連する資料の散逸と減失を防ぐため、収集と適切な保存管理及び修理業務を行うため実施している。平成23年度に、それまでの資料保存普及事業から保存事業を独立させて資料収集事業とともに再構成した事業である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	博物館入館者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	堺の歴史と文化を代表する資料の散逸を防ぎ、市民の文化的共有財産である博物館資料を未来への遺産として後世に伝えるために適切な処置を行う事業である。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市に関する資料の調査を行い、購入・寄贈等により資料を収蔵する。また、収蔵した資料は適切な文化財空調のもとで保存できるようにし、必要に応じて修理する。また、修理した資料は研究し展示等で公開し活用していく。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

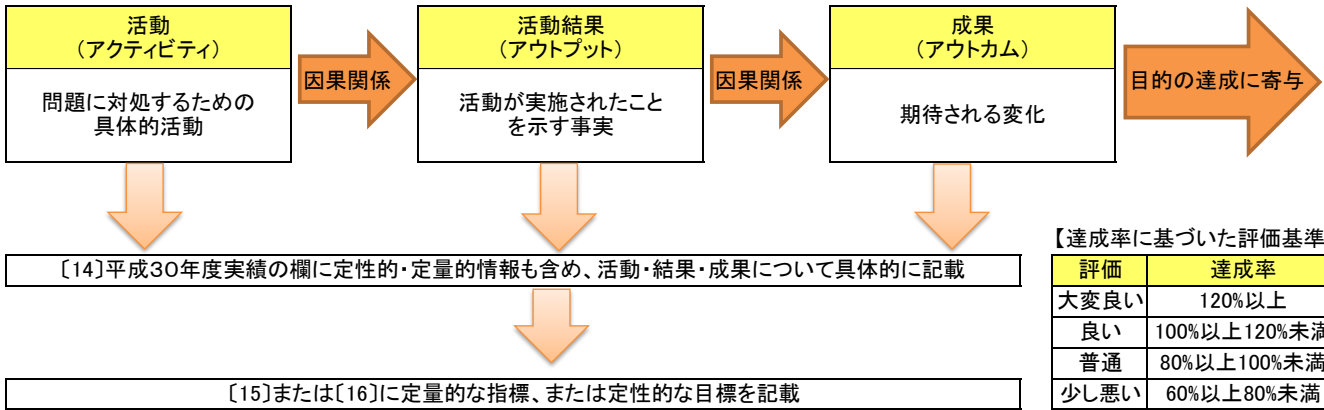
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	6,121	8,003	10,659	6,179	
11 主な事業費内訳	評価者謝礼金	千円	69	138	59	138
	委託料	千円	2,818	2,376	2,052	2,300
	修繕料	千円	3,053	2,193	3,869	1,200
	資料購入	千円		3,259	4,632	
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	0	205	112	0
市債	千円					
その他(基金繰入金・物品売払収入)	千円	2,145	4,176	8,809	3,700	
一般財源	千円	3,976	3,622	1,738	2,479	
12 人件費 (b)	千円	14,760	14,760	14,760	11,340	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	20,881	22,763	25,419	17,519	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	資料収集保存事業	シート番号	08-60
-------	----------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	○資料燻蒸委託業務						
		○資料購入 土佐光起筆 柿本人麻呂像・源氏物語図色紙(藤裏葉)・堺緞通(亀甲花纹)2帖・紋羽摺込敷物 計4件5点						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		修理資料を用いた展覧会の実施	回	目標値	2	2	2	1
				実績値	2	2	2	
				達成率	100%	100%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		修理した資料の利活用					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		(Blank)	(Blank)	目標値				
				実績値				
				達成率				
				評価				
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	資料燻蒸業務では事故なく無事に終了した。 資料購入では計画通り4件の購入を無事終了した。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。